

NPO活動サポート事業【ネーミング事業】

分野を指定して、50万円以上の寄附をした寄附者が県の助成事業に愛称を付けて実施した助成事業です。

ネーミングの基本構成

企業名や商品名と、支援したい分野を組み合わせたものになります。

企業名 + 分野名 + 支援 + 事業

商品名
店舗名など

支援したい
分野

応援・振興
促進・保全など

例) 企業名:コバトン／分野名:環境保全／支援:応援

コバトン環境保全応援事業



平成30年度ネーミング事業一覧

ネーミング名	分 野	助成団体及び事業名
一般財団法人さいたま住宅検査センター スマイル 住まいるまちづくり支援事業	まちづくり	特定非営利活動法人空き家対策協会(さいたま市) 空き家利活用のための冊子作成と住宅確保困難者支援のためのシンポジウム開催
キリンビール株式会社埼玉支社 地産地消・食育応援事業	地産地消・食育	特定非営利活動法人羽生子育てサポートキャロット(羽生市) 地産地消と子育て応援事業 みんな つながって 大きくなれ
金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業	みどりと川の再生	NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会(飯能市) 重要里地里山天覧山・多峯主山の再生活用事業
		特定非営利活動法人和光・緑と湧き水の会(和光市) 和光の緑と湧き水を次世代に残す事業－都市部の身近な自然の調査・保全・活用－
株式会社富士薬品ドラッグセイムス 環境保全支援事業	環境保全	特定非営利活動法人自然環境観察会(上尾市) 都市近郊の生物多様性回復のための生態補償地の造成と普及
		特定非営利活動法人工コネットくまがや(熊谷市) 環境共生のまちづくり事業
		特定非営利活動法人けやの森自然塾(狭山市) 日高の林で環境教育
Sankeiキッズ募金子育て振興事業	子育て	NPO法人あさかプレーパークの会(朝霞市) 孤育てストップ!トカイナカでつながる子育ち・親育ちの輪

助成件数

8件

助成金額合計

4,738,000円

各事業の採択団体からの事業報告書はホームページ「NPOコバトンびん」に公開しています。(※「NPOコバトンびん」についてはP13を御覧ください)

ネーミング名 | 一般財団法人さいたま住宅検査センター住まいのまちづくり支援事業

事業名 | 空き家利活用のための冊子作成と住宅確保困難者支援のためのシンポジウム開催

法人名 | 特定非営利活動法人空き家対策協会(さいたま市)



活動内容

さいたま市、川越市、坂戸市、北本市にて「空き家の発生を減らす・利活用」をスローガンに「空き家対策」のセミナー・個別相談会を実施しています。

さいたま市では、市と共に「家族に感謝される相続と空き家対策」という代目のセミナーを、平成30年度中に4回実施し、合計約400名の方々にお話しさせて頂きました。

事業取組

今回、助成金で「冊子作成」と「シンポジウムの実施」という二つの事業を行いました。空き家発生の最大の原因が「相続」という事で、冊子は、相続と空き家発生の関係がわかる様な構成にし、今何をしなければならないかを、高齢者の方でも読みやすい様に、大きめのフォントで記載しました。

また、イラストを多用する事で、だれでも気軽に読め、ご家庭での話し合いの橋渡しになる様に作成いたしました。

シンポジウムは、空き家の利活用について、空き家側(当協会)⇒リフォーム側(一般社団法人埼玉いえ・まち再生会議)⇒使う人側(NPO法人華齢なるケアマネたち)の3団体で、空き家を「住宅に困っている方に貸すにはどうしたらよいか・問題点は何か」という観点で行いました。

事業成果

作成した冊子は、ご家庭で使って頂き、「相続問題」「空き家問題」を考えいただきたいと思います。公共施設等で設置・配布していただく事で、より多くのご家庭で「相続と空き家問題」を話し合うきっかけになれば幸いです。

シンポジウムをきっかけとして、今まで交流が無かった団体と連携し、大きな輪となり、地域活性の源となれれば光栄です。

総事業費

594,759円

助成額

450,000円

ネーミング名 | キリンビル株式会社埼玉支社地産地消・食育応援事業

事業名 | 地産地消と子育て応援事業 みんなつながって 大きくなあれ

法人名 | 特定非営利活動法人羽生子育てサポートキャロット(羽生市)



活動内容

地域のつながりの希薄化が進む中で、孤立しがちな親・子ども達がホッとできる居場所をつくる活動を行っています。

主に、子育てカフェやひろばを開いて、地元の農家で栽培された食材や自分たちが育てた野菜を使ったおやつやランチを提供する「食育」を行ったり、市の社会福祉課と連携して、毎週1回小学生・中学生・高校生の学習・生活支援を行ったりしています。

①農業自然体験

有機栽培農家と連携した野菜収穫体験を実施しました。自分で採った野菜をその場で食するという体験を通して、野菜本来のおいしさを味わいました。また田んぼ周辺の生き物と触れ合う直接体験もできました。

②夏休み子どもクールシェア・冬休み子どもウォームシェア

午前中学習タイム→手作りランチ→午後は異年齢交流と充実した1日を過ごすことができました。延べ258名の小学生が参加しました。

③キャロットひろば

野外でのひろばの開催でしたが、130名を超える参加者がおり、幅広い世代の交流の場とすることができます。

事業取組

①専業農家との連携した野菜収穫体験では全員の親子が満足する体験となりました。生産者と消費者が交流する場を広げていきたいです。

②子どもクールシェア・ウォームシェアでは保護者から「満面の笑みを浮かべて帰ってきました。」と大好評でした。アンケートでも大変満足、来年度もぜひ実施してほしいとほぼ100%の回答がありました。今後も広げていきたいです。

③キャロットひろばでは、初めて野外での活動でしたが、予想を超える参加者があり、乳幼児から子育て世代、シニア世代と幅広い世代のつながりができました。今後も地域の他団体との連携を強め地域ぐるみの子育て応援を続けていきたいです。



事業成果

総事業費

678,627円

助成額

600,000円